

財団セッション2

-1.クラブ財団委員会の役割と責務



-2.新補助金システムとプロジェクト



研修目的

1. クラブのロータリー財団委員会の役割を理解する

2. ロータリー財団の新補助金モデルを実践する

- ◆ 財団委員会の役割は社会奉仕と国際奉仕の奉仕プロジェクト活動の参加を支援することです。
- ◆ その為には、活動資金源である財団寄付の実施計画を立て、目標を達成することです。



2-1. クラブ財団委員会の役割

1. ローターリー財団について、ロータリアンの関心と理解を深める、会員への研修
2. クラブの財団目標策定と目標達成する上で主体的となる
3. **財団補助金プログラムへのクラブの参加**と財政的支援である財団寄付の両面から実施計画を立案しクラブを導く。
4. 補助金の参加資格取得と、適切な資金管理（仕組みの構築）



責 務

- 委員会の目標を立てる
- クラブ会員へ新補助金システムを浸透させる
- R財団への支援を奨励する
- 資金管理を徹底させる
- 地区ロータリー財団セミナー
及び、補助金管理セミナーに出席する
- 財団の目標を全会員に伝え、理解を得る。



補助金管理

- 補助金管理の目的は、クラブ会員が参加資格について理解し、補助金が適切に管理され、効果的に活用されることです。
 - 補助金管理セミナーでは、R財団の全ての資金を管理する十分なシステムがクラブに備わっていることを確認する。
 - クラブがロータリー財団補助金資金を受領する資格を得るには、クラブから少なくとも2名、内一人は補助金会計責任者がこの研修に出席し、覚書(MOU)に同意し、署名する必要があります。
 - 承認された計画に従ってプロジェクトを実施
 - 財務記録の定期的な確認と見直し(全会員への周知)
 - 報告書を期日通りに提出(提出が完了するまで、全申請が不可)
- 資金管理の手引きは、地区ホームページからダウンロード戴けます。



2013 - 14年度2780地区 R財団委員会組織編制

地区財団監査
委員会(3年)

公認会計士+パストガ
バナー +現役地区役
員 合計3名

構成員:補助金委員長
ガバナー.R財団委員長

地区R財団委員会

構成員:ガバナー+R財団委員長
+R財団副委員長(2名)

補助金 委員会

補助金配分
小委員会

DG補助金部会
GG補助金部会

財団資金推進
小委員会

広報・研修部会
資格申請支援部会

平和フェロー・
奨学金委員会

平和フェロー部会
奨学金・学友部会
職業研修部会

資金管理 委員会

地区管理部会

クラブ管理部会

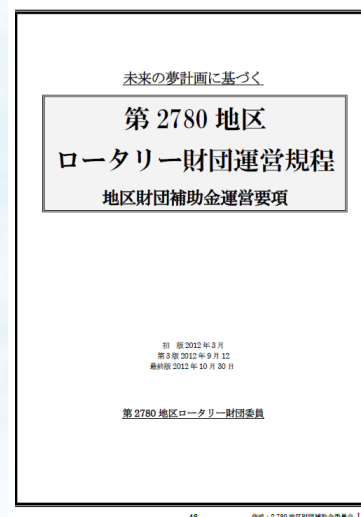
資金推進・ ポリ才委員会

注:ガバナー、ガバナーエレクト、財団
委員長、補助金委員長、R財団監査委
員の所属クラブはグローバル補助金の
参加資格は在任中停止されます。



地区R財団委員会リソース

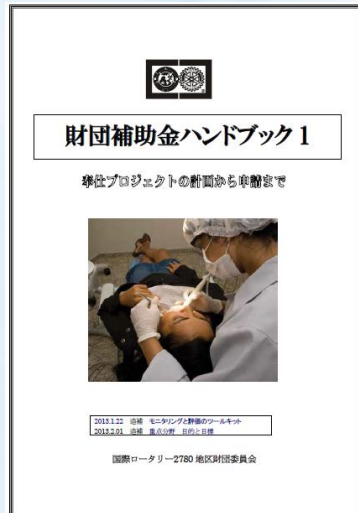
第2780地区 ロータリー財団 運営規程



財団補助金 ハンドブック3

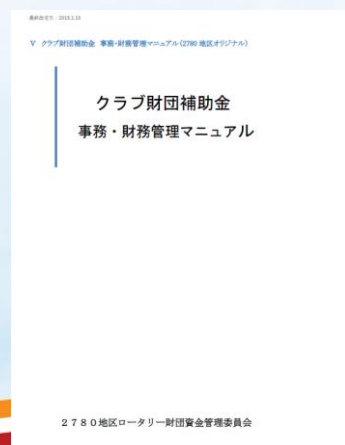


財団補助金 ハンドブック1

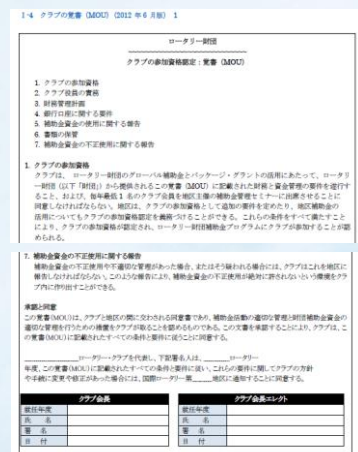


これらの資料は地区
のホームページから
ダウンロード出来ます

クラブ財団補 助金事務・財務 管理マニュアル



クラブ覚書 (MOU)



セッション2-2: R財団新補助金システム



なぜ未来の夢計画なのか

- ロータリー財団の第2世紀に備える
- 財団の飛躍的な成長
- 慈善分野において時代に即した存在となる
- 発展し続ける組織
- ロータリアンからのフィードバック
- 持続可能性、大きな成果、簡素化



ロータリー財団新補助金システム

財団の標語と使命

世界でよいことをしよう

「ロータリアンが、



健康状態を改善し、教育への支援を高め、
貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、
平和を達成できるようにすること」

2007年規定審議会により承認



未来の夢計画の目標

- 財団のプログラムと運営を簡素化する
- 全世界的な影響を高める活動に、ロータリアンの奉仕の焦点を絞る
- 全世界および地元での活動を支援する
- 地区レベルとクラブレベルにおいて財団が自分たちのものであるという自覚を高める
- ロータリーの公共イメージを高める



重点分野



- 平和と紛争予防／紛争解決



- 疾病予防と治療



- 水と衛生設備



- 母子の健康



- 基本的教育と識字率向上



- 経済と地域社会の発展



財団の新しい補助金とプログラム



新地区補助金

- 財団の使命に沿った教育的・人道的活動
- 年に1度、「一括で」支給される補助金
- 小規模な活動とプロジェクト
- 地元と海外の両方の活動に支給
- 柔軟な指針を備え、
使途の決定権は地元に委譲



グローバル補助金

- 長期のプロジェクト
- 高額な補助金支給額
- 持続可能な成果
- 重点分野に沿った活動
- WF(国際財団活動資金)から
上乘せ
- 2つのオプション: クラブ／地区
が立案したプロジェクトと
パッケージ・グラント



プロジェクトの立案

- 地域社会のニーズ調査(必須)
- 協同提唱者の活用
- 測定可能、持続可能な目標設定
- 予算を作成する



プロジェクトのチェックポイント

- 測定可能な目標と期待される成果を盛り込んだ実施計画
- 補助金を使い尽くされた後にも持続していくことができる
- 適切な補助金資金の管理を実践する



プロジェクトの事業内容ーチェックポイント

1. 人道的なもので、**本当に困っている人々を支援するものか？**
2. **地域の緊急(優先順位の高い)ニーズに応えるものであるか？**
3. 金品の贈呈だけが目的になっていないか、あるいは対象が特定の人になっていないか？(ただし、**経済的困窮学童への学用品の寄贈や教育費の使途指定現金贈与は認められる場合があります**)
4. ニーズの高い子ども達の研究学習や放課後プログラム支援事業も可能ですが、補助金の対象とならない場合もあります。
5. 単なる文化的な体験学習やイベントになっていないか？
6. 娯楽的なものや飲食が計画の中に入っていないか？ **(地域の障害者や高齢者の為の人道的支援事業は適格です)**
7. ホームページ作成の費用は不可。



プロジェクトの事業内容ーチェックポイント その2

8. 青少年の異文化交流事業は、平和構築に効果があれば適格
(クラブ相互の友好的交流は不適格)
9. 青少年健全育成の重要なスポーツ大会は場合によって可、選考順位は下位(障害者や高齢者の機能回復や人道的支援は適格)
10. コンサートや単なる文化講演会、お祭りや行事への協賛、史跡の標識やモニュメント、記念植樹に類したものは不適格。(目的が環境問題や青少年育成、障害者への支援など、困っている状況への課題解決の一助であれば可)
11. 他団体の事業に協賛するプロジェクトは不適格(RCの主体性)。
12. 継続事業や申請前に既に手がけられた事業、承認される前に支払われたプロジェクトは対象外。(但し、事前調査やパイロット・プランの場合は、既存の継続事業でない説明が明確であれば適格。既に行われた同様のプロジェクトでも、地域と受益者のどちらも違う場合は適格。)



グローバル補助金：活動例

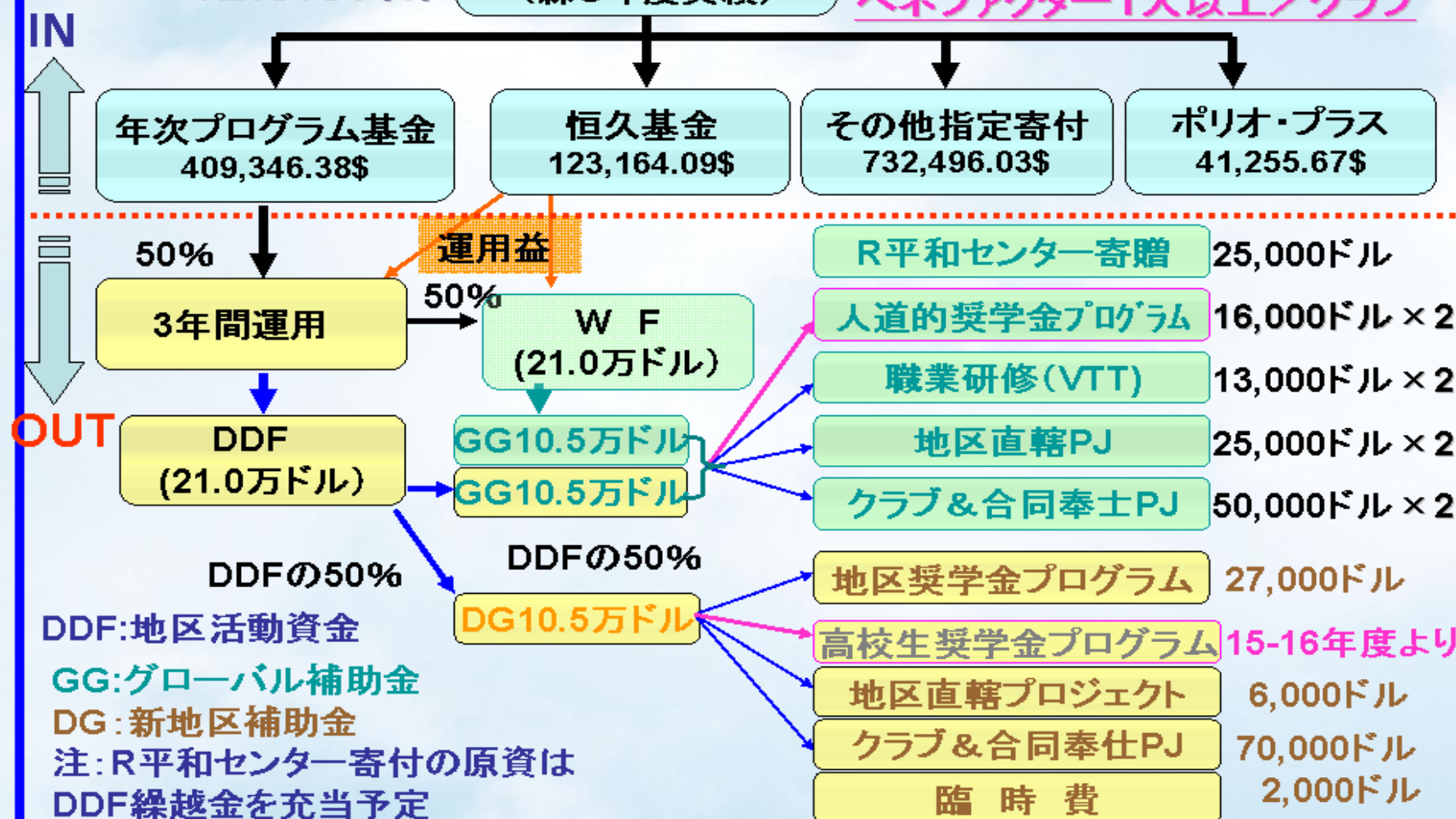
- 安全な水、衛生設備の設置、衛生に関する教育プロジェクト
- 水工学を学ぶ学生に奨学金を提供
- 蚊帳の配布とマラリアの治療を提供するマラリア・プロジェクト
- 成人の識字教育に関するワークショップに参加したり、指導方法を学ぶ職業研修チームを派遣



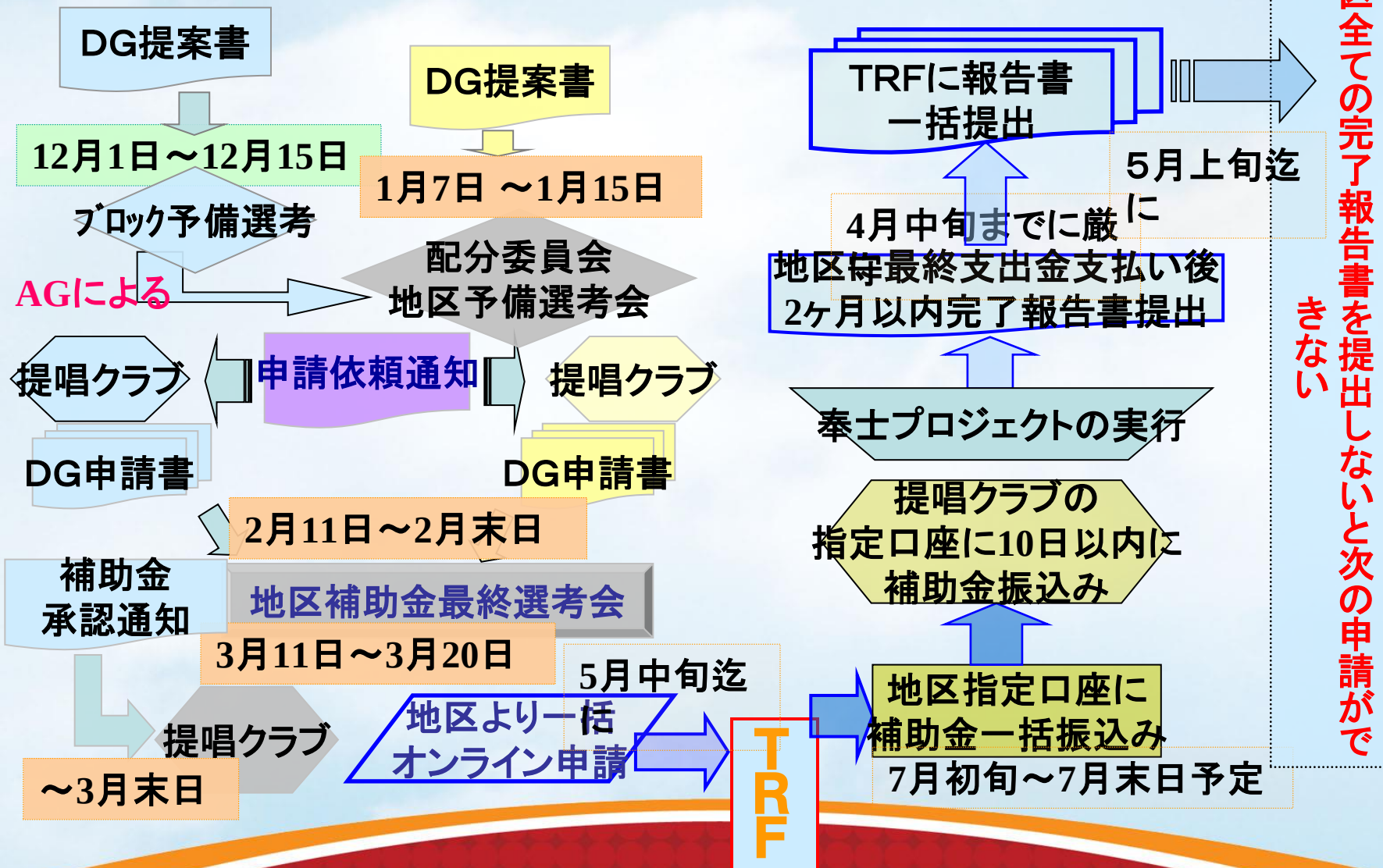
2014-15年度 DDFの配分方針案

R財団寄付
2011-12年度
(森G年度実績)

渡辺ガバナ一年度財団目標
年次基金一人平均200ドル
ベネファクター1人以上/クラブ



新地区補助金申請のフロー



貴方にとってR財団とは？

- ロータリーとロータリー・クラブにとって、ロータリー財団が重要な理由は何ですか。
- この中で、ロータリー財団委員会の委員を務めたことのある方はおられますか。
- 経験から学んだことのうち、最も重要なことは何でしたか。





15分間の進行役なし円卓討論



- 1.R財団未来の夢計画における重要方針は何か
- 2.クラブにおける最優先課題は何か
- 3.今までと何が違うか(変えるか)
- 4.クラブ・メンバーが理解するにはどの様に伝えたらよいか

